

# 32 対数とその性質

## ポイント1 対数の定義

$a > 0, a \neq 1$  とする (底の条件). 前節のポイント2の3)の性質により,  $R$  を正の数とするとき,  $a^r = R$  をみたす  $r$  がただ1つ存在する. この  $r$  のことを  $a$  を底とする  $R$  の対数といい  $\log_a R$  と書く.  $R$  をこの対数の真数という. 真数はつねに正である (真数条件).

対数  $r$  のみたす最も大切な式は,

$$r = \log_a R \Leftrightarrow a^r = R$$

これによって, 指数に関する式を対数の言葉に書き換えることができる.

$$a^0 = 1, a^1 = a, a^{-1} = \frac{1}{a}$$

を対数で書き換えると,

$$\log_a 1 = 0, \log_a a = 1, \log_a \frac{1}{a} = -1$$

**例題** 指数に関する次の関係式を  $r = \log_a R$  の形に書き換えよ.

$$(1) 2^8 = 256$$

$$(2) 81^{\frac{1}{4}} = 3$$

$$(3) 10^{-2} = 0.01$$

$$(解説) (1) \log_2 256 = 8$$

$$(2) \log_{81} 3 = \frac{1}{4}$$

$$(3) \log_{10} 0.01 = -2$$

**確認問題1** 指数に関する次の関係式を  $r = \log_a R$  の形に書き換えよ.

$$\square(1) 4^3 = 64$$

$$\square(2) 16^{\frac{1}{4}} = 2$$

$$\square(3) 2^{-1} = 0.5$$

$$\square(4) \left(\frac{1}{9}\right)^{\frac{1}{2}} = \frac{1}{3}$$

## ポイント2 対数の値

指数への書き換えと指数の値の計算を用いて, 対数の値を求めることができる.

**例題** 次の対数の値を求めよ.

$$(1) \log_3 27$$

$$(2) \log_2 128$$

$$(3) \log_2 \frac{1}{8}$$

$$(解説) (1) \log_3 27 = r \text{ とおく. ポイント1の書き換えにより, } 3^r = 27$$

$$3^r = 27 = 3^3 \text{ をみたす } r \text{ は1つしかなかったから, } r = 3 \quad \therefore \log_3 27 = 3$$

$$(2) \log_2 128 = r \text{ とおく. } 2^r = 128 = 2^7 \text{ より } r = 7 \quad \therefore \log_2 128 = 7$$

$$(3) \log_2 \frac{1}{8} = r \text{ とおく. } 2^r = \frac{1}{8} = 2^{-3} \text{ より } r = -3 \quad \therefore \log_2 \frac{1}{8} = -3$$

**確認問題2** 次の対数の値を求めよ.

$$\square(1) \log_2 8$$

$$\square(2) \log_9 3$$

$$\square(3) \log_{\frac{1}{2}} 4$$

$$\square(4) \log_{\frac{1}{3}} \frac{1}{9}$$

### ボイント③ 対数法則

指數関数のもつ性質から、対数関数に関する性質を導くことができる。

$x, y$  を正の数、 $p$  を実数とするとき ( $a > 0, a \neq 1$ ),

$$1) \log_a xy = \log_a x + \log_a y$$

$$2) \log_a \frac{x}{y} = \log_a x - \log_a y$$

$$3) \log_a x^p = p \log_a x$$

【例題】次の対数の値を計算せよ。

$$(1) \log_{10} 2 + \log_{10} 5$$

$$(2) \log_4 64 - \log_4 16$$

$$(3) \log_2 \frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$(解答) (1) \log_{10} 2 + \log_{10} 5 = \log_{10}(2 \times 5) = \log_{10} 10 = 1$$

$$(2) \log_4 64 - \log_4 16 = \log_4 \frac{64}{16} = \log_4 4 = 1$$

$$(3) \log_2 \frac{1}{\sqrt{2}} = \log_2 \left(2^{-\frac{1}{2}}\right) = \left(-\frac{1}{2}\right) \log_2 2 = -\frac{1}{2}$$

【確認問題】3 次の対数の値を計算せよ。

$$\square (1) \log_{12} 9 + \log_{12} 16$$

$$\square (2) \log_3 81 - \log_3 \frac{1}{3}$$

$$\square (3) \log_3 \frac{1}{\sqrt{27}}$$

$$\square (4) \log_4 \sqrt{32}$$

### ボイント④ 底の変換公式

$a, b$  は底の条件をみたしているとする (すなわち,  $a, b > 0, a \neq 1, b \neq 1$ ).

$x$  を正の数とするとき,

$$\log_a x = \frac{\log_b x}{\log_b a}$$

が成り立つ。この式は、 $a$  を底とする対数の値を  $b$  を底とする対数の式に書き換えている。したがって、異なる底をもった対数を同じ底の対数にそろえるのに便利である。

【例題】次の式を簡単にせよ。

$$(1) \log_3 5 \times \log_5 9$$

$$(2) \log_8 \frac{1}{16}$$

$$(3) \log_5 7 \div \log_{10} 7$$

$$(解答) (1) \log_3 5 \times \log_5 9 = \log_3 5 \times \frac{\log_3 9}{\log_3 5} = \log_3 9 = 2$$

$$(2) \log_8 \frac{1}{16} = \frac{\log_2 \frac{1}{16}}{\log_2 8} = \frac{-4}{3} = -\frac{4}{3}$$

$$(3) \log_5 7 \div \log_{10} 7 = \log_5 7 \div \frac{\log_5 7}{\log_5 10} = \log_5 10$$

【確認問題】4 次の式を簡単にせよ。

$$\square (1) \log_4 5 \times \log_5 32$$

$$\square (2) \log_2 5 \times \log_5 50$$

$$\square (3) \log_5 5 \div \log_4 5$$

## 練成問題 A

1 指数に関する次の関係式を  $r = \log_a R$  の形に書き換えよ.

(⇒ポイント 1)

$\square(1) 13^2 = 169$

$\square(2) 27^{\frac{1}{3}} = 3$

$\square(3) 10^{-3} = 0.001$

$\square(4) \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{1}{4}$

$\square(5) \left(\frac{1}{4}\right)^{-2} = 16$

$\square(6) \left(\frac{1}{81}\right)^{-\frac{1}{2}} = 9$

2 次の対数の値を求めよ.

(⇒ポイント 2)

$\square(1) \log_2 1024$

$\square(2) \log_3 \frac{1}{9}$

$\square(3) \log_{10} 0.01$

$\square(4) \log_{\frac{1}{3}} 9$

$\square(5) \log_{\frac{1}{2}} \frac{1}{8}$

$\square(6) \log_{0.1} 10$

3 次の対数の値を計算せよ.

(⇒ポイント 3)

$\square(1) \log_3 \sqrt[5]{81}$

$\square(2) \log_9 \frac{1}{\sqrt{3}}$

$\square(3) \log_8 \left(2^{-\frac{3}{4}}\right)$

$\square(4) -\log_4 \frac{1}{16} + \log_{16} 4$

$\square(5) \log_{\sqrt{50}} (2500)$

4 次の式を簡単にせよ.

(⇒ポイント 3, 4)

$\square(1) \frac{1}{4} \log_3 8 - 2 \log_3 4 + \log_3 \frac{1}{\sqrt{2}}$

$\square(2) \log_5 8 - \log_5 \frac{1}{4}$

$\square(3) \log_5 3 \times \log_3 75$

$\square(4) \log_3 8 \div \log_{12} 2$

$\square(5) \log_{27} \frac{1}{3}$

$\square(6) \frac{\log_5 7}{\log_{10} 49}$

$\square(7) \log_3 25 \times \log_5 27$

## 練成問題 B

1  $\log_a x = \alpha$ ,  $\log_a y = \beta$ ,  $\log_a z = \gamma$  とするとき, 次の式を  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$  で表せ.

(1)  $\log_a x^3 y^2 z$

(2)  $\log_a \sqrt{xyz}$

(3)  $\log_a \frac{xy}{y^2}$

(4)  $\log_a \left( \frac{y}{x^2} \times \frac{z}{y^2} \times \frac{x}{z^2} \right)$

(5)  $\log_a \sqrt[3]{x} \sqrt[4]{y} \sqrt{z}$

(6)  $\log_a \sqrt[3]{\frac{\sqrt{x} y}{z}}$

2  $\log_2 3 = \alpha$ ,  $\log_3 5 = \beta$  とするとき, 次の式を  $\alpha$ ,  $\beta$  で表せ.

(1)  $\log_3 2$

(2)  $\log_2 5$

(3)  $\log_6 5$

(4)  $\log_{12} 25$

(5)  $\log_{12} \frac{1}{4}$

(6)  $\log_{24} 75$

3 次の式を簡単にせよ.

(1)  $5 \log_3 \sqrt[4]{2} - \log_3 8 + \frac{3}{2} \log_3 \frac{1}{2}$

(2)  $4 \log_5 10 - \log_5 16 - \frac{1}{3} \log_5 \frac{1}{4}$

(3)  $2 \log_{\frac{1}{2}} 4 + \log_{\frac{1}{2}} \frac{1}{16}$

(4)  $\log_4 \frac{1}{8} + \log_4 \sqrt{96} - \log_4 \sqrt[3]{3}$

4 次の式を簡単にせよ.

(1)  $\log_{16} 5 - \frac{1}{4} \log_{\frac{1}{2}} 10$

(2)  $\log_{0.25} (4\sqrt{2})$

(3)  $(\log_2 9 - \log_4 27) \times \log_3 6$

(4)  $\left( \log_3 16 + \frac{1}{3} \log_{\frac{1}{3}} 2 \right) \left( \log_2 9 - \log_{\frac{1}{2}} \frac{1}{3} \right)$

5 次の2つの数の大小を比較し, 大きい方を答えよ

(1)  $\log_2 7$ ,  $\log_8 100$

(2)  $\log_{10} 5$ ,  $\log_{\frac{1}{2}} 0.1$

(3)  $\log_{\frac{1}{3}} 2$ ,  $\log_2 \frac{1}{3}$

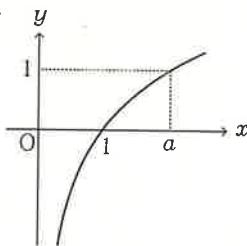
(4)  $\log_3 6$ ,  $\log_3 15^{\frac{2}{3}}$

# 33 対数関数とそのグラフ

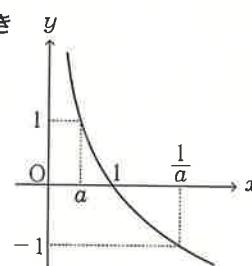
## ポイント1 対数関数のグラフ

$a$  を正の実数で  $a \neq 1$  とする。関数  $y = \log_a x$  のグラフの概形は次の通り。

$a > 1$  のとき



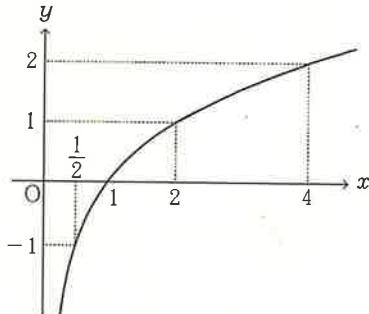
$0 < a < 1$  のとき



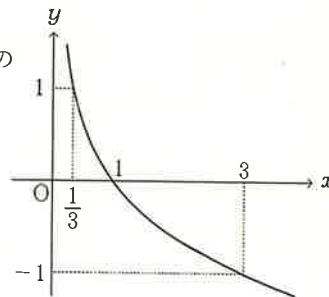
例題  $y = \log_2 x$ ,  $y = \log_{\frac{1}{3}} x$  のグラフの概形を描け。

(解答)

$y = \log_2 x$  の  
グラフ



$y = \log_{\frac{1}{3}} x$  の  
グラフ



確認問題 1. 次の関数のグラフの概形を描け。

□(1)  $y = \log_3 x$

□(2)  $y = \log_4 x$

□(3)  $y = \log_{\frac{1}{4}} x$

## ポイント2 対数方程式(1)

$y = \log_a x$  に共通した性質として、

- 1) 関数が定義されるのは  $x > 0$  の範囲だけである。
- 2) 必ず  $(1, 0)$  を通り、 $y$  軸が漸近線になる。
- 3)  $a > 1$  のとき、 $u < v \Leftrightarrow \log_a u < \log_a v$   
 $0 < a < 1$  のとき、 $u < v \Leftrightarrow \log_a u > \log_a v$

この 1), 2), 3) は p.160 の指数関数の性質 1), 2), 3) を対数関数の言葉に書き換えたものである。

3) が指数関数の応用で重要な働きをしたように、上の対数関数の性質の中でも 3) は重要な性質である。なお、対数関数の問題では  $0 < a < 1$  が使われることはまれで、たいてい  $a > 1$  である。

注意 対数関数  $y = \log_a x$  のグラフと指数関数  $y = a^x$  のグラフは直線  $y = x$  に関して対称になっている。

例題 方程式  $\log_3(x+1) = 2$  を解け。

(解答)  $2 = \log_3 9$ . 上の性質 3) より、 $\log_3(x+1) = \log_3 9$  をみたす  $(x+1)$  の値はただ 1 つ。

よって、 $x+1 = 9 \quad \therefore x = 8$  (これは真数条件  $x+1 > 0$  をみたしている)

**確認問題2** 次の方程式を解け。

$\square(1) \log_2(2x - 1) = 2$

$\square(2) \log_3(2 - 3x) = -1$

$\square(3) \log_{\frac{1}{2}}\frac{x}{4} = 3$

**ポイント3 対数不等式(1)****例題1** 不等式  $\log_2(3x + 1) < 3$  を解け。(解答) 真数条件より  $3x + 1 > 0 \quad \therefore x > -\frac{1}{3} \quad \dots \quad ①$  $3 = \log_2 8$ . ポイント2の性質3)より、 $3x + 1 < 8$  なら  $\log_2(3x + 1) < \log_2 8$  をみたし、逆も正しい。

$\therefore x < \frac{7}{3} \quad \dots \quad ②$

$①, ②$  より  $-\frac{1}{3} < x < \frac{7}{3}$

**例題2**  $\sqrt[4]{3}$  と  $\sqrt[10]{27}$  の大小を比較せよ。(解答) 3を底とする対数をとると、 $\log_3 \sqrt[4]{3} = \frac{1}{4}$ ,  $\log_3 \sqrt[10]{27} = \frac{3}{10}$ .  $\frac{1}{4} < \frac{3}{10}$  なので、 $\sqrt[10]{27} > \sqrt[4]{3}$ 注意 これは指数関数のところでやった  $\sqrt[4]{3} = 3^{\frac{1}{4}}$ ,  $\sqrt[10]{27} = (3^3)^{\frac{1}{10}} = 3^{\frac{3}{10}}$ ,  $\frac{3}{10} > \frac{1}{4}$  を用いて比較する方法を、対数の記号を使って書き直したものである。**確認問題3** 次の間に答えよ。

(1) 次の不等式を解け。

$\square(1) \log_3(4x + 1) < 2$

$\square(2) \log_2\left(\frac{x}{3} + 1\right) \geq \frac{1}{2}$

$\square(3) \log_3\left(-\frac{x}{2} + 1\right) < 3$

(2) 次の2つの数の大小を比較せよ。

$\square(1) \sqrt[4]{4}, \sqrt[10]{128}$

$\square(2) 2^{-\frac{3}{5}}, \frac{1}{\sqrt[3]{32}}$

**ポイント4 対数方程式・不等式(2)****例題1** 方程式  $\log_2(x - 1) + \log_2(x + 1) = 1$  を解け。(解答) 真数条件  $x - 1 > 0, x + 1 > 0$  より  $x > 1 \quad \dots \quad ①$ 

$\log_2(x^2 - 1) = \log_2 2, x^2 - 1 = 2 \quad \therefore x = \pm\sqrt{3} \quad ①$  より  $x = \sqrt{3}$

**例題2** 不等式  $\log_2(x - 1) + \log_2(x + 1) < 1$  を解け。(解答) 真数条件  $x - 1 > 0, x + 1 > 0$  より  $x > 1 \quad \dots \quad ①$ 

$\log_2(x^2 - 1) < \log_2 2, x^2 - 1 < 2, x^2 - 3 < 0, (x - \sqrt{3})(x + \sqrt{3}) < 0$

$\therefore -\sqrt{3} < x < \sqrt{3} \quad \dots \quad ②$

$①, ②$  より  $1 < x < \sqrt{3}$

**確認問題4** 次の方程式、不等式を解け。

$\square(1) \log_2(2x - 1) + \log_2(x - 2) = 1$

$\square(2) \log_5(x + 1) + \log_5(x - 3) = 1$

$\square(3) \log_5(x + 1) + \log_5(x - 3) < 1$

$\square(4) \log_2(x - 1) + \log_2(x + 2) \geq 2$

**ボイント5 対数関数の最大・最小**

対数を含む関数について、最大値や最小値を求める考えることができる。

**例題** 関数  $y = (\log_3 x)^2 - \log_3 x^4 + 5$  ( $1 \leq x \leq 27$ ) について、次の間に答えよ。

(1)  $\log_3 x = t$  とおくとき、 $t$  の値の範囲を求めよ。

(2) この関数の最大値と最小値を求めよ。

**(解答)** (1)  $1 \leq x \leq 27$  で  $1 < 3$  だから  $\log_3 1 \leq \log_3 x \leq \log_3 27$  だから

$$0 \leq t \leq 3$$

$$(2) y = (\log_3 x)^2 - \log_3 x^4 + 5$$

$$= (\log_3 x)^2 - 4 \log_3 x + 5$$

$$= t^2 - 4t + 5$$

$$= (t - 2)^2 + 1$$

右図より

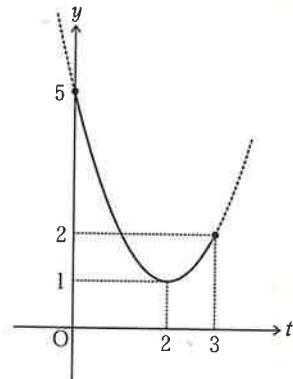
$$\text{最大値 } 5 \ (t = 0)$$

$$\text{最小値 } 1 \ (t = 2)$$

ここで

$$\begin{cases} t = 0 \text{ より } \log_3 x = 0, & x = 1 \\ t = 2 \text{ より } \log_3 x = 2, & x = 9 \end{cases}$$

答 最大値 5 ( $x = 1$ )、最小値 1 ( $x = 9$ )



**確認問題5** 次の間に答えよ。

(1) 関数  $y = (\log_2 x)^2 - \log_2 x^2 - 1$  ( $1 \leq x \leq 64$ ) について、次の間に答えよ。

□①  $\log_2 x = t$  とおくとき、 $t$  の値の範囲を求めよ。

□② この関数の最大値と最小値を求めよ。

(2) 関数  $y = (\log_5 x)^2 - \log_5 x^3 + 1$  ( $1 \leq x \leq 125$ ) について、次の間に答えよ。

□①  $\log_5 x = t$  とおくとき、 $t$  の値の範囲を求めよ。

□② この関数の最大値と最小値を求めよ。

# 練成問題 A

1 次の関数のグラフの概形を描け.

(⇒ポイント 1)

□(1)  $y = \log_5 x$

□(2)  $y = \log_{\frac{5}{2}} x$

□(3)  $y = \log_{10} x$

2 次の方程式を解け.

(⇒ポイント 2)

□(1)  $\log_3(x + 5) = 2$

□(2)  $\log_2(2x + 1) = 2$

□(3)  $\log_{\frac{2}{3}}(1 - x) = 1$

□(4)  $\log_{\frac{3}{4}}(3x - 1) = -1$

□(5)  $\log_5\left(\frac{x+1}{2}\right) = 2$

□(6)  $\log_9\left(\frac{3x-1}{4}\right) = -\frac{1}{2}$

3 次の不等式を解け.

(⇒ポイント 3)

□(1)  $\log_2(x + 3) \leq 3$

□(2)  $\log_3(2x - 1) \geq 2$

□(3)  $\log_{\frac{1}{4}}(x - 1) \leq \frac{1}{2}$

□(4)  $1 < \log_3\left(\frac{x+3}{2}\right)$

□(5)  $-2 \leq \log_{\frac{1}{2}} x$

□(6)  $\log_{\frac{1}{3}} \frac{-x+1}{2} > -1$

4 次の2つの数の大小を比較せよ.

(⇒ポイント 3)

□(1)  $\log_3 \sqrt[3]{9}, \log_3 \sqrt[4]{27}$

□(2)  $\log_2 2^{-\frac{1}{5}}, \log_2 16^{-\frac{1}{8}}$

□(3)  $\log_4 \sqrt[6]{5}, \log_4 \sqrt[10]{125}$

□(4)  $\log_{\sqrt{10}} 0.001, \log_{\frac{1}{2}} 512$

## 5 次の方程式、不等式を解け。

(⇒ポイント4)

□(1)  $\log_2(x+2) + \log_2(2x+1) = 1$

□(2)  $\log_3(2x-1)^2 = \log_3 x$

□(3)  $\log_5(3x+1) - \log_5(2x-1) = 1$

□(4)  $\log_5(5x^2 - x + 1) \leq 1$

□(5)  $\log_{\frac{1}{3}}(x^2 - 4x + 4) \geq -1$

□(6)  $\log_{\frac{1}{2}}(x-1) \geq -\log_{\frac{1}{2}}(x-3) - 2$

6 関数  $y = (\log_2 x)^2 - \log_2 x^5 - 1$  ( $1 \leq x \leq 16$ ) について、次の間に答えよ。

(⇒ポイント5)

□(1)  $\log_2 x = t$  とおくとき、 $t$  の値の範囲を求めよ。

□(2) この関数の最大値と最小値を求めよ。

7 関数  $y = (\log_3 x)^2 - \log_3 x^6 + 1$  ( $1 \leq x \leq 81$ ) について、次の間に答えよ。

(⇒ポイント5)

□(1)  $\log_3 x = t$  とおくとき、 $t$  の値の範囲を求めよ。

□(2) この関数の最大値と最小値を求めよ。

## 練成問題 B

1 次の関数のグラフの概形を描け。さらにそのグラフは  $y = \log_2 x$  とどのような関係にあるか答えよ。

(1)  $y = \log_2(x - 2)$

(2)  $y = \log_2(2x)$

(3)  $y = \log_{\frac{1}{2}} x$

(4)  $y = \log_2 \frac{1}{x}$

2 次の式をみたす正数  $a$  の値を求めよ。

(1)  $\log_a 9 = 4$

(2)  $\log_a 4 = -1$

(3)  $\log_a 2 + \log_{a^2} 2 = 3$

(4)  $\log_a \sqrt[3]{\frac{1}{4}} = \frac{2}{3}$

3 次の不等式を解け。

(1)  $0 \leq \log_3(2x^2 + 5x + 3) \leq 1$

(2)  $|\log_2(x + 1)| < 1$

(3)  $\log_5 |2x + 1| \geq 2$

(4)  $\log_{\frac{1}{3}}(2x + 1) + 1 + \log_{\frac{1}{3}}(x - 2) < 0$

(5)  $\log_4(x^2 - x - 2) > 1$

(6)  $|\log_{\frac{1}{2}}(2x + 1)| > 1$

4 次の方程式を解け。

(1)  $\log_2(-x^2 + 4x - 1) = 1$

(2)  $\log_{\frac{1}{3}}(4x^2 - 2x + 1) = -1$

(3)  $\log_3(x + 1) + \log_9(x + 1) = 3$

(4)  $\log_{\frac{1}{2}}(2x - 1) + \log_2(x^2 + 1) = 1$

5 次の関数の最大値、最小値を求めよ。

(1)  $y = \log_{\frac{1}{2}} x \quad (2 \leq x \leq 16)$

(2)  $y = \log_3 x \quad (1 < x \leq 81)$

(3)  $y = \log_5 \sqrt{x} \quad (1 \leq x \leq 100)$

(4)  $y = (\log_{\frac{1}{2}} x)^2 \quad \left(\frac{1}{2} \leq x \leq 2\right)$

# 34 常用対数

ここでは、対数関数の1つ、10を底とする対数の応用について学ぶ。我々が10進法を用いている関係上、10を底とする対数は大変有用なので、これを特に常用対数と呼んでいる。

## ポイント① 常用対数表の使い方：対数の値

1)  $1.00 \leq x \leq 9.99$  までのとき。 $\log_{10}x$  の値は巻末の常用対数表から直接求めることができる。

**例題1** 次の値を表から読みとれ。

(1)  $\log_{10}2.00$

(2)  $\log_{10}3.14$

(3)  $\log_{10}6.86$

(解答) (1)		数	0	1	
1.0	.0000				
:					
2.0	.3010	.3032	...		

1番左の列が求めたい  $x$  の小数第1位までの数を表し、その右の欄が小数第2位の数を表している。左の表より,  
 $\log_{10}2 \approx 0.3010$  (2は表では2.00)

(2) 同様に、 $\log_{10}3.14 \approx 0.4969$

(3) 同様に、 $\log_{10}6.86 \approx 0.8363$

2)  $x \geq 10.0$  または  $0 < x < 1.00$  のときには、次の例題のようにすると大体の値が求まる。

**例題2** 次の常用対数の値を求めよ。

(1)  $\log_{10}15.3$

(2)  $\log_{10}0.521$

(解答) (1)  $\log_{10}15.3 = \log_{10}(10 \times 1.53) = \log_{10}10 + \log_{10}1.53$

$$\log_{10}10 = 1, \log_{10}1.53 \approx 0.1847 \quad \therefore \log_{10}15.3 \approx 1 + 0.1847 = 1.1847$$

(2)  $\log_{10}0.521 = \log_{10}(5.21 \times 10^{-1}) = \log_{10}5.21 + \log_{10}(10^{-1})$

$$\log_{10}(10^{-1}) = -1, \log_{10}5.21 = 0.7168 \quad \therefore \log_{10}0.521 \approx 0.7168 - 1 = -0.2832$$

**確認問題1** 巷末の常用対数表を用いて、次の間に答えよ。

(1) 次の値を常用対数表から読みとれ。

①  $\log_{10}4.81$

②  $\log_{10}2.04$

③  $\log_{10}7.50$

④  $\log_{10}1.18$

(2) 次の常用対数の値を求めよ。

①  $\log_{10}126$

②  $\log_{10}733$

③  $\log_{10}0.432$

④  $\log_{10}0.028$

**ボイント② 対数を用いた近似値の計算(1)**

**例題1** 卷末の常用対数表を用いて、 $\sqrt[4]{5}$  の近似値を求めよ。

(解答)  $\log_{10} \sqrt[4]{5} = \frac{1}{4} \log_{10} 5$

対数表より、 $\log_{10} 5 \approx 0.6990 \quad \therefore \log_{10} \sqrt[4]{5} \approx \frac{1}{4} \times 0.6990 = 0.17475$

$\log_{10} x \approx 0.17475$  となる  $x$  をふたたび対数表を用いて探すと、

$\log_{10} 1.49 \approx 0.1732, \log_{10} 1.50 \approx 0.1761$

したがって、 $x \approx 1.49$  (精密には誤差についての計算が必要)

**例題2**  $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771$  として、次の値を求めよ。

(1)  $\log_{10} 6$

(2)  $\log_{10} 10.8$

(解答) (1)  $\log_{10} 6 = \log_{10} 2 + \log_{10} 3$   
 $= 0.3010 + 0.4771$   
 $= 0.7781$

(2)  $108 = 2^2 \times 3^3$  より  
 $\log_{10} 10.8 = \log_{10} 108 - 1$   
 $= 2 \log_{10} 2 + 3 \log_{10} 3 - 1$   
 $= 1.0333$

**確認問題2** 次の間に答えよ。

(1) 卷末の常用対数表を用いて、次の数の近似値を求めよ。

①  $\sqrt[3]{7}$

②  $3^{\frac{2}{5}}$

③  $\sqrt[3]{18}$

④  $\sqrt[3]{0.032}$

(2)  $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771$  として、次の値を求めよ。

①  $\log_{10} 5$

②  $\log_{10} 24$

③  $\log_{10} 120$

④  $\log_{10} 0.18$

**ボイント③ 対数を用いた近似値の計算(2)**

正数  $x$  の整数部分が  $n$  術の数であること、つまり  $10^{n-1} \leq x < 10^n$  と  $n-1 \leq \log_{10} x < n$  とは同値である。

また、 $x$  を 1 以下の正数とするとき、 $x$  の小数第  $n$  位に初めて 0 でない数が現れること、つまり、

$10^{-n} \leq x < 10^{-(n-1)}$  と  $-n \leq \log_{10} x < -n+1$  とは同値である。

この性質を用いて、大きな数や小さな数の見当をつけることができる (精密に答えるためには誤差についての計算が必要)。

**例題1**  $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。 $2^{20}$  は何術の数か。

(解答)  $\log_{10} 2^{20} = 20 \log_{10} 2 \approx 6.02 \quad \therefore 6 < \log_{10} 2^{20} < 7$

よって  $10^6 < 2^{20} < 10^7$

ゆえに、 $2^{20}$  は 7 術の数である。

**例題2**  $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。 $2^{-8}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。

(解答)  $\log_{10}(2^{-8}) = -8 \log_{10} 2 \approx -2.408 \quad \therefore -3 < \log_{10}(2^{-8}) < -2$

よって  $10^{-3} < 2^{-8} < 10^{-2}$

ゆえに、 $2^{-8}$  で初めて 0 でない数字が現れるのは、小数第 3 位である。

**確認問題3** 次の間に答えよ。(1)  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の数は何桁の数か。

①  $3^{15}$

②  $18^9$

③  $12^7$

(2)  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の間に答えよ。 ①  $\left(\frac{1}{4}\right)^8$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。 ②  $\left(\frac{1}{6}\right)^{10}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。 ③  $3^{-30}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。**ポイント4 常用対数の文章題****例題** あるバクテリアは 10 分ごとに分裂して 2 倍に増えるとする。このバクテリア 5 個が分裂を始めて、100 万個を超えるのは何時間後かを求めよ。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。(解答)  $x$  時間後のバクテリアの個数は

$5 \times 2^{6x}$

これが  $1000000 = 10^6$  個以上であるとすると

$5 \times 2^{6x} \geq 10^6$

$2^{6x} \geq 2 \times 10^5$

両辺の常用対数をとると、

$\log_{10} 2^{6x} \geq \log_{10} 2 \cdot 10^5$

$6x \log_{10} 2 \geq \log_{10} 2 + 5$

$\log_{10} 2 = 0.3010$  より

$1.806x \geq 5.301$

$x \geq 2.93\cdots$

これより 3 時間後に 100 万個を超える。

**確認問題4** 次の間に答えよ。 (1) あるバクテリアは 20 分ごとに分裂して 2 倍に増えるとする。このバクテリア 8 個が分裂を始めて 1000 万個を超えるのは何時間後かを求めよ。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。 (2) あるガラス板を 1 枚通るごとに、光線はその強さの  $\frac{1}{4}$  を失う。このガラス板を何枚以上重ねると、これを通ってきた光線の強さがもとの強さの  $\frac{1}{4}$  以下になるか。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。

---

# 練成問題 A

---

1 卷末の常用対数表を用いて、次の常用対数の値を求めよ。 (⇒ポイント 1)

(1)  $\log_{10} 3.83$

(2)  $\log_{10} 9.12$

(3)  $\log_{10} 5.51$

(4)  $\log_{10} 43.6$

(5)  $\log_{10} 726$

(6)  $\log_{10} 6.37$

(7)  $\log_{10} 0.392$

(8)  $\log_{10} 0.00681$

2 卷末の常用対数表を用いて、次の数の近似値を求めよ。 (⇒ポイント 2)

(1)  $\sqrt[8]{27}$

(2)  $\sqrt[4]{18}$

(3)  $40^{\frac{1}{3}}$

(4)  $\sqrt[4]{1000}$

(5)  $\sqrt[3]{0.275}$

(6)  $(0.0188)^{\frac{1}{4}}$

3  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  として、次の値を求めよ。 (⇒ポイント 2)

(1)  $\log_{10} 48$

(2)  $\log_{10} 15$

(3)  $\log_{10} 250$

(4)  $\log_{10} 0.096$

4  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の数は何桁の数か。 (⇒ポイント 3)

(1)  $24^6$

(2)  $5^{12}$

(3)  $\sqrt[3]{5000000}$

(4)  $6^{\frac{20}{3}}$

5  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の間に答えよ。

(⇒ポイント3)

□(1)  $\left(\frac{1}{3}\right)^{15}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。

□(2)  $\left(\frac{1}{5}\right)^{18}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。

□(3)  $6^{-\frac{16}{3}}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。

□(4)  $(0.02)^{13}$  は小数第何位に初めて 0 でない数字が現れるか。

6 次の間に答えよ。

(⇒ポイント4)

□(1) ある放射性物質は、一定の割合で崩壊し、12日たつと量が半分になるという。この放射性物質が現在の量の  $\frac{1}{100}$  以下になるのは何日目か。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする。

□(2) あるガラス板を1枚通るごとに、光線はその強さの  $\frac{1}{10}$  を失う。このガラス板を何枚以上重ねると、これを通ってきた光線の強さがもとの強さの  $\frac{1}{2}$  以下となるか。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。

## 練成問題 B

1 卷末の常用対数表を用いて、次の  $x$  の値の近似値を求めよ。

(1)  $\log_{10} x = 0.24$

(2)  $\log_{10} x = 0.80$

(3)  $\log_{10} x = 1.38$

(4)  $\log_{10} x = 4.10$

(5)  $\log_{10} x = -0.55$

(6)  $\log_{10} x = -3.11$

2  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の間に答えよ。

(1)  $2^n < 3^{15} < 2^{n+1}$  をみたす自然数  $n$  の値を求めよ。

(2)  $3^n < 2^{20} < 3^{n+1}$  をみたす自然数  $n$  の値を求めよ。

(3)  $5^n < 6^{10} < 5^{n+1}$  をみたす自然数  $n$  の値を求めよ。

(4)  $18^n < 5^{20} < 18^{n+1}$  をみたす自然数  $n$  の値を求めよ。

3  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の間に答えよ。

(1)  $2^{-n} < 0.0001$  をみたす最小の自然数  $n$  を求めよ。

(2)  $3^{-n} < 0.0001$  をみたす最小の自然数  $n$  を求めよ。

(3)  $\left(\frac{1}{6}\right)^n$  は小数第 6 位に初めて 0 でない数字が現れる。こうした  $n$  の中で最小のものを求めよ。

(4)  $\left(\frac{1}{12}\right)^n$  は小数第 10 位に初めて 0 でない数字が現れる。こうした  $n$  の中で最小のものを求めよ。

4  $\log_{10} 2 = 0.3010$ ,  $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。次の間に答えよ。(答えは小数第 3 位で四捨五入せよ)

(1)  $\log_2 3$  の値を小数第 2 位まで求めよ。

(2)  $\log_3 250$  の値を小数第 2 位まで求めよ。

(3)  $\log_6 1000$  の値を小数第 2 位まで求めよ。

(4)  $\log_6 0.125$  の値を小数第 2 位まで求めよ。

# 練成問題C (4)

1 □ 関数  $y = 4^x - 2^{x+2} + 2$  の  $-1 \leq x \leq 2$  における最大値と最小値の和を求めよ.

2 □ 次の間に答えよ.

長さが  $a$  のひもをある機械に通すと長さが  $\frac{9}{10}a$  になるという。このとき、長さ 1 のひもを  $n$  回この機械に通すと、長さ  $\boxed{\text{ア}}$  となり、長さが  $\frac{1}{3}$  より短くなるのは  $\boxed{\text{イ}}$  回からである。ただし、 $\log_{10} 3 = 0.4771$  とする。

3 次の  $\boxed{\text{□}}$  を埋めよ。ただし、 $\log_{10} 2 = 0.301$ 、 $\log_{10} 3 = 0.477$  とする。

□(1)  $4^{17} \times 3^5$  は  $\boxed{\text{□}}$  衡である。

□(2)  $32^a \times 27^b$  が 9 衡になる正の整数  $a$ 、 $b$  の組み合わせは  $\boxed{\text{□}}$  通りである。

4 □ 次の  $\boxed{\text{□}}$  を埋めよ。

$16x^{\log_2 x} = x^5$  をみたす  $x$  の値は、 $x = \boxed{\text{□}}$  である。

5 □ 次の間に答えよ。

関数  $f(x) = 4^{x+1} - 2^{x+1.5} + 3$  は、 $x = \boxed{\text{ア}}$  で最小値  $\boxed{\text{イ}}$  をとる。

6 □  $a = \log_2 3$  とする。このとき  $\log_{12} 18$  を  $a$  を用いて表せ。

7 □ 次の  $\boxed{\text{□}}$  を埋めよ。

関数  $y = 8^x + \left(\frac{1}{2}\right)^{3x+2}$  は  $x = \boxed{\text{ア}}$  のとき最小値  $\boxed{\text{イ}}$  である。

8 □ 次の  $\boxed{\text{□}}$  を埋めよ。

$\log_a(x+1) + \log_a(2-x) = -1$  をみたす実数  $x$  が存在するためには、 $a$  は  $\boxed{\text{ア}} \leq a < \boxed{\text{イ}}$  または  $\boxed{\text{ウ}} < a$  の範囲になければならない。

9 □ 次の  $\boxed{\quad}$  を埋めよ.

方程式  $\log_2(3^x - a) + 1 = 0$  をみたす実数  $x$  が存在するためには、実数  $a$  は  $a > \boxed{\text{ア}}$  の範囲になければならない。そのとき、 $x$  を  $a$  を用いて表すと  $x = \boxed{\text{イ}}$  である。

10  $a, b, c, d$  が、いずれも 1 以外の正の数であるとき、次の等式を証明せよ。

$$\square(1) (\log_a b)(\log_b a) = 1$$

$$\square(2) (\log_a b)(\log_b c)(\log_c d)(\log_d a) = 1$$

11 次の方程式を解け。

$$\square(1) 8^x - 4^{x+1} = 2^{x+5}$$

$$\square(2) \log_2 x - 2\log_x 4 = 3$$

12 □ 次の不等式をみたす  $x$  の範囲を求めよ。

$$\log_2(x+1) - \log_2(x-1) < 3$$

13 □ 次の間に答えよ。

$x$  の関数  $\log_2(x^2 + \sqrt{2})$  は  $x = \boxed{\text{ア}}$  のとき、最小値  $\boxed{\text{イ}}$  をとる。 $a$  を定数とするとき、 $x$  の方程式

$$\left\{ \log_2(x^2 + \sqrt{2}) \right\}^2 - 2\log_2(x^2 + \sqrt{2}) + a = 0 \quad \dots \dots \quad ①$$

が解をもつ条件は  $a \leq \boxed{\text{ウ}}$  である。 $a = \boxed{\text{ウ}}$  のとき方程式①は  $\boxed{\text{エ}}$  個の解をもち、また方程式①が 3 個の解をもつのは  $a = \boxed{\text{オ}}$  のときである。

14 次の間に答えよ。ただし、 $\log_2 3 = 1.5849\cdots$ 、 $\log_2 7 = 2.8073\cdots$  である。

$\square(1)$   $\log_2 2352$  の値を四捨五入して小数第 2 位まで求めよ。

$\square(2)$   $6 < 2^{\sqrt{7}} < 7$  であることを示せ。

$\square(3)$   $\frac{7}{5} < \log_2(\log_2 7) < \frac{3}{2}$  であることを示せ。